



2022年度 第2回 瀬戸内海東部カタクチイワシ漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し（2022年7月～8月）のポイント

(1) 概要：

シラスの漁獲量は平年並み。

カタクチイワシ（小羽から大羽）の漁獲量は平年を下回る。

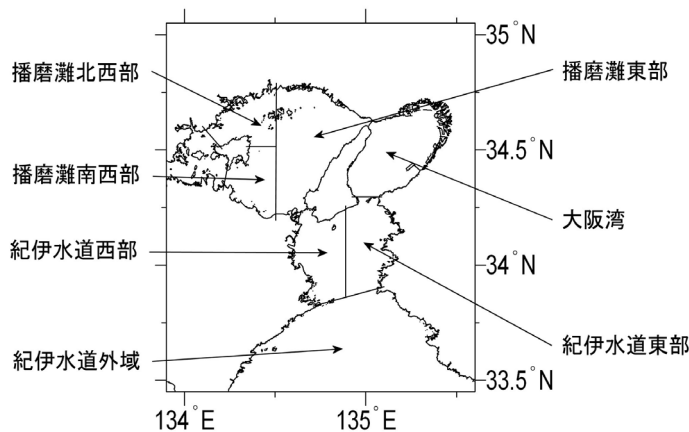
(2) 海域別：

紀伊水道東部・播磨灘東部・播磨灘南西部のシラスは前年同様、平年並み。

紀伊水道西部・大阪湾のシラスは好漁であった前年を下回り、平年並み。

播磨灘北西部のシラスは不漁であった前年を上回り、平年並み。

大阪湾のカタクチイワシは前年並み、もしくは前年を上回るが、平年を下回る。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

担当：企画調整部門（横浜） 上原

浮魚資源部（廿日市） 船本、河野

電話：0829-55-0666、ファックス：0829-54-1216

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2022年度第2回瀬戸内海東部カタクチイワシ漁況予報

1. 今後の見通し（2022年7月～8月）

シラス（本年夏季発生群）

紀伊水道東部・播磨灘東部・播磨灘南西部では2021年同様、平年並み。

紀伊水道西部・大阪湾では好漁であった2021年を下回り、平年並み。

播磨灘北西部では不漁であった2021年を上回り、平年並み。

標本漁協、もしくは標本船のシラス漁獲量を各海域の指標とした（図1～図3）。

カタクチイワシ（小羽から大羽）

大阪湾では2021年並み、もしくは2021年を上回るが、平年を下回る。

標本船の漁獲量を指標とした（図4）。

シラス、カタクチイワシのいずれも2012年～2021年の平均値を平年値とした。

2. 漁況等の経過（2022年4月～6月）及び今後の見通し（2022年7月～8月）についての説明

(1) シラス漁況

紀伊水道東部（和歌山県側）では5月の漁獲量は前年の50%、平年の43%であった。

紀伊水道西部（徳島県側）では5月の漁獲量は前年の68%、平年の46%であった。

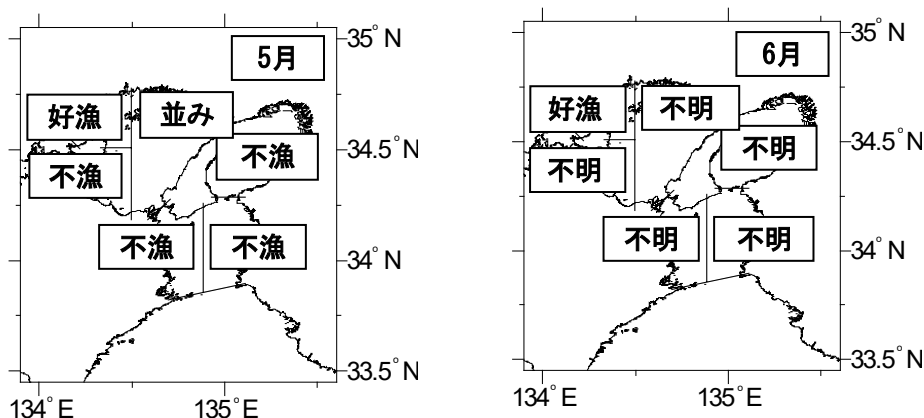
大阪湾（大阪府）では2022年の漁は4月26日に一部の船が出漁したが5月5日まで休漁し、5月6日から再び出漁を開始した。4月の漁獲量（暫定値）は前年の1%、平年の3%と低調であった。5月の漁獲量は前年の203%、平年の73%であった。5月下旬になり、大阪湾で発生したと推測される群の加入がみられている。

大阪湾（兵庫県）では2022年の漁は前年より20日遅い5月9日から始まった。5月の漁獲量は前年の198%、平年の94%であった。

播磨灘東部（兵庫県側）では2022年の漁は前年より15日遅い6月2日から始まった。5月は漁獲量がなかった（前年は90トン、平年77トン）。

播磨灘南西部（香川県側）では5月下旬から漁期入りしたが魚影がみられず、5月は操業が行われていない（前年0トン、平年10トン）。

播磨灘北西部（岡山県側）では2022年の漁は前年より19日早い5月26日から始まった。5月の漁獲量は平年の1,382%（前年漁獲なし）、6月の漁獲量（6月1日～7日までの合計）は平年の144%（前年漁獲なし）であった。



2022年5月～6月のシラス漁況

(2) 産卵量と稚仔量

大阪湾では5月の産卵量は前年の72%、平年の271%、6月は前年の123%、平年の136%であった。5月の稚仔採集数は前年の59%、平年の77%、6月は前年の27%、平年の54%であった。播磨灘では6月の産卵量は前年の136%、平年の164%であった(図5)。播磨灘東部では前年の96%、平年の124%、播磨灘北西部では前年の53%、平年の98%であった。播磨灘南西部では6月の産卵量は前年の207%、平年の193%、稚仔採集数は前年の93%、平年の142%であった。

(3) 黒潮流路の現況と今後の予測(2022年7月~8月)

6月13日現在、黒潮は室戸岬沖と潮岬沖で著しく離岸し、大蛇行流路となっている。各岬における黒潮離岸距離の変動傾向と水産研究・教育機構運用の海況予測システムFRA-ROMS IIの予測結果、および最近の黒潮流路の推移等を併せて考慮すると、紀伊水道沖の黒潮は一時的に接岸することはあるものの、概ね離岸傾向で推移すると予測される。

※ 黒潮の離接岸に関する語句表記は、川合英夫(1972): 海洋物理II、東海大学出版会を参考にした。

(4) 今後の見通し(2022年7月~8月)

シラス(本年夏季発生群)

紀伊水道東部では外海発生群及び内海発生群が漁獲されていると推定されるが、今後の漁況は主に内海発生群に左右されると考えられる。本漁期に黒潮は離岸傾向で推移すると予測されている。また紀伊水道東部における5月のシラス漁は低調であった。しかしながら、大阪湾での6月の産卵量は2021年、平年を上回っており、これらの状況から判断すると2021年同様、平年並みと考えられる。

紀伊水道西部でも外海発生群及び内海発生群が漁獲されていると推定される。7月~8月の漁獲量は6月の紀伊水道西部と播磨灘(徳島県海域)の水温が低いほど多くなる傾向があり、播磨灘(徳島県海域)よりも紀伊水道の影響が大きい(図6)。紀伊水道西部における10m層の平均水温は2021年よりもかなり高め(2021年値との差 $>1.5^{\circ}\text{C}$)で平年より高め($1.0^{\circ}\text{C}<$ 平年値との差 $\leq 1.5^{\circ}\text{C}$)、播磨灘(徳島県海域)では2021年より高め($1.0^{\circ}\text{C}<$ 2021年値との差 $\leq 1.5^{\circ}\text{C}$)で平年よりやや高め($0.5^{\circ}\text{C}<$ 平年値との差 $\leq 1.0^{\circ}\text{C}$)と水温条件は良くない。大阪湾や播磨灘での6月の産卵量が平年を上回っているものの、好漁であった2021年を下回り、平年並みと予測される。

大阪湾では外海発生群が春から引き続き漁獲されるのに加え、内海発生群が6月以降にシラスとして漁獲されるようになる。黒潮は離岸傾向が続くと予測されており、今後、外海発生群の漁獲はあまり見込めない。また大阪湾での6月の産卵量は2021年、平年を上回っているものの、稚仔採集数は2021年、平年を下回っており、好漁であった2021年を下回り、平年並みと考えられる。

播磨灘東部では内海発生群が漁の主体であり、6月の水温が低いほど7月~8月の漁獲量が多くなる傾向がある(図7)。播磨灘全体での6月の産卵量は2021年及び平年を上回っているものの(図5)、水温は2021年よりやや高めで平年並みである。したがって2021年同様、平年並みと予測される。

播磨灘南西部も内海発生群が漁の主体である。6月の卵稚仔量から判断すると、2021年同様、平年並みと考えられる。

播磨灘北西部も内海発生群が漁の主体である。5月~6月のシラス漁は好調であり、また6月の産卵量から判断すると、不漁であった2021年を上回り、平年並みと考えられる。

カタクチイワシ(小羽から大羽)

大阪湾では漁期当初に2021年発生期の1歳魚、その後は2022年の春シラス漁で漁獲の対象となった0歳魚

が小・中羽として漁獲される。2022年の春シラス漁では2021年を上回る漁獲があったことから、加入量は2021年よりは多いと考えられる。ただし、近年、夏季はマイワシを主体に漁獲しており、2022年もその傾向が続くことが予想されるため、2021年並み、もしくは2021年を上回るものの、平年を下回ると考えられる。

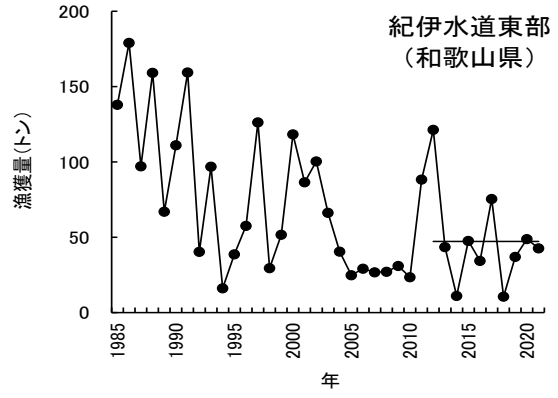
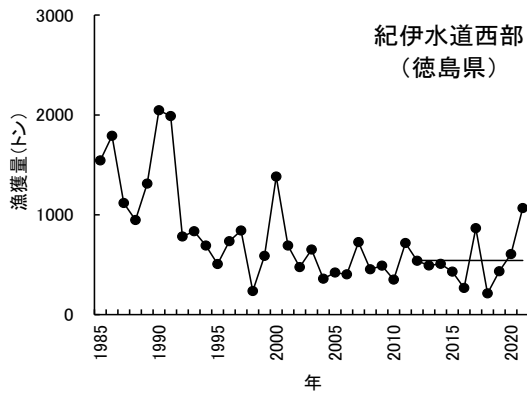


図1 紀伊水道の標本漁協における7月～8月のシラス漁獲量（実線は平年値）

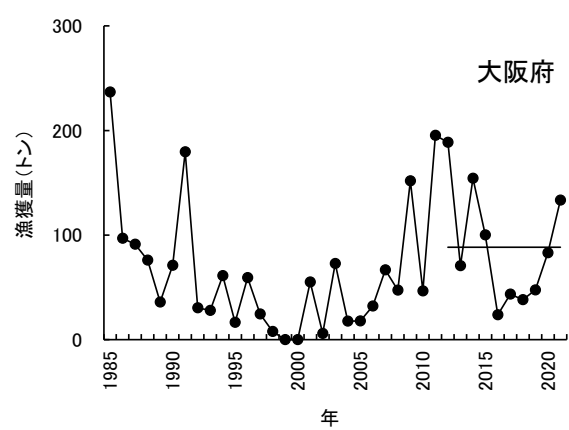
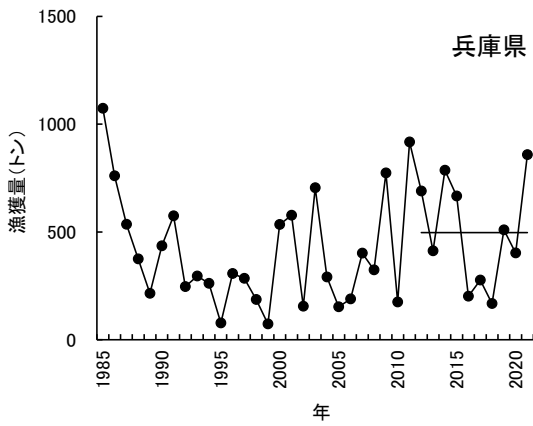


図2 大阪湾の標本漁協における7月～8月のシラス漁獲量（実線は平年値）

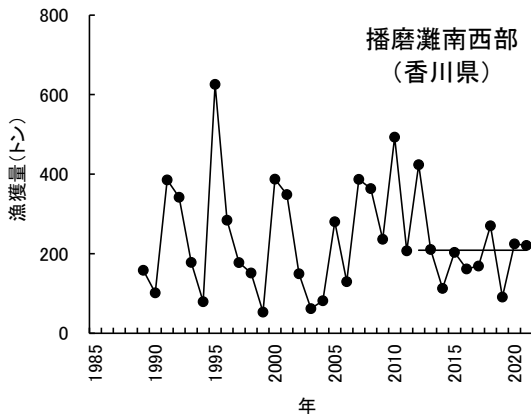
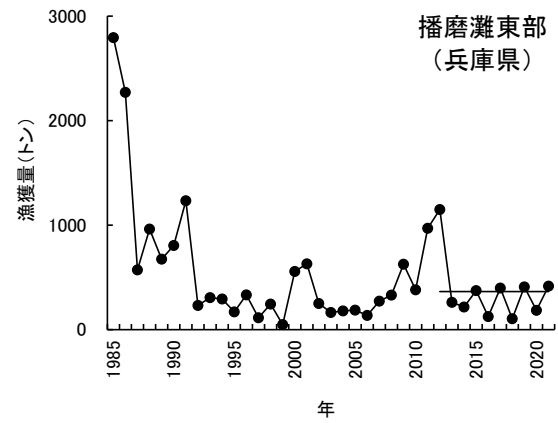
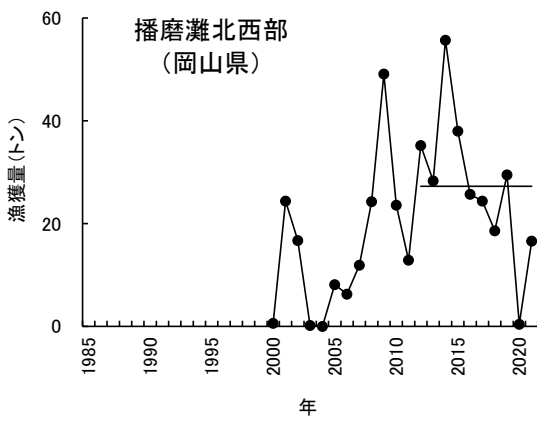


図3 播磨灘北西部の標本船、東部及び南西部の標本漁協における7月～8月のシラス漁獲量（実線は平年値）

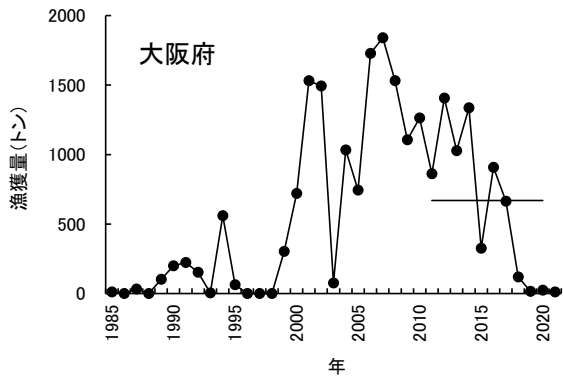


図4 大阪湾の標本船における7月～8月のカタクチイワシ漁獲量（実線は平年値）

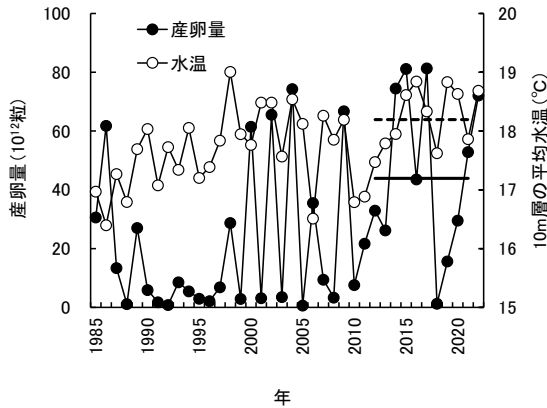


図5 播磨灘における6月の産卵量と10m層の平均水温（実線は産卵量、点線は10m層の平均水温の平年値）

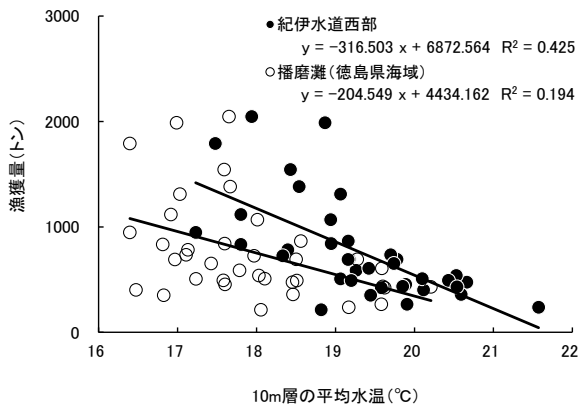


図6 紀伊水道西部及び播磨灘（徳島県海域）における6月の10m層の平均水温と紀伊水道西部の標本漁協におけるシラス漁獲量の関係

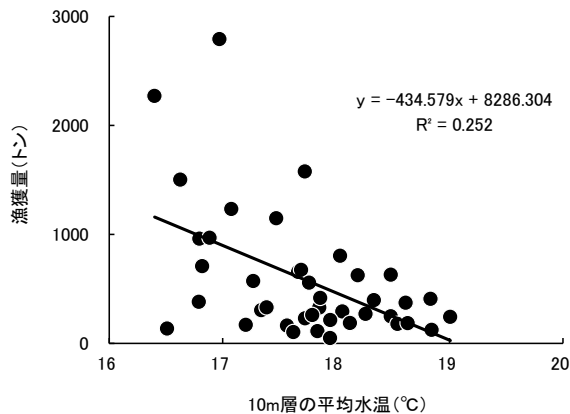


図7 播磨灘の6月における10m層の平均水温と播磨灘東部の標本漁協におけるシラス漁獲量の関係

参 画 機 関

<p>和歌山県水産試験場</p> <p>地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター</p> <p>兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター</p> <p>岡山県農林水産総合センター水産研究所</p>	<p>香川県水産試験場</p> <p>徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究課</p> <p>(取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p>
--	---